

平成27年度 リニアドライブ技術委員会 活動報告

委員長 北野淳一

1. 技術会合(シンポジウム, 見学会, 産業応用フォーラム, 講習会) ※年度内(4月～翌年3月)分をすべて記載.

開催日	会合種類	会合名	場所	実施状況
6/30	見学会	烏山線	烏山線	11名
9/3	D部門大会シンポジウム	最新!リニアモータ応用の状況2015	大分大学	5件, 30名
10/20	見学会	JAXA種子島宇宙センター	種子島	25名
技術報告 印刷待ち	産業応用フォーラム	(仮)技術報告「新世代アクチュエータの性能評価とそれを活かす多自由度構成の提案」	東京	
H28.3	全国大会シンポジウム	※不参加	東北大学	

2. 研究会予定と実施(実績/予定) ※1月～12月, および翌年1月～3月をすべて記載.

開催年月日	H27.6/25,26	H27.6/29	H27.8/6,7	H27.9/8,9	H27.11/21	H27.12/15,16	H28/1.26
テーマ (共催機関)	「リニアドライブの応用, リニアドライブ技術一般, および磁気応用一般」(IEEE MAG33 信越協賛)	「鉄道+リニアドライブ一般」(TER 共催)	「小形モータ一般・永久磁石モータ一般/リニアドライブ一般/家電・民生一般」(RM/HCA 共催)	「電磁アクチュエータシステムのための磁性材料(軟磁性および硬磁性)とその評価技術, リニアドライブ一般」(RM共催, 日本磁気学会共催)	「磁性材料, MD一般, 磁気支持・LD一般」(MD/MAG 共催)	電力用磁性材料, 電磁アクチュエータシステム用磁性材料, 磁気応用一般, リニアドライブ一般 (MAG 共催, 日本磁気学会合同)	リニアドライブ技術一般, 磁気浮上技術, リニアドライブの応用, および磁気応用一般
場所	長野	宇都宮	梅田	名古屋	種子島	沖縄	大阪
日数	2	2	2	2	1	1	1
論文数(実績/予定)	17/20	4/7	33/20	10/10	19/20	18/20	29/8
論文累計(実績/予定)	17/20	21/27	54/47	64/57	83/77	101/97	130/105
参加者数	54名 (のべ80名)	10名	93名	8日 30名 9日 100名	28名	64名	63名

3. 特記事項

- ・優秀論文発表賞 本部 岸田和也(東洋電機製造), 小田原俊也(豊田工業大学)
部門 西浦悠介(大阪大学), 新田隼也(大阪大学)
- ・2016/4 電気学会誌 産業応用部門の国際活動 LDIA (大崎)
- ・2016/5/18-20 第28回電磁力関連のダイナミックシンポジウムSEAD28 慶応大学日吉C 日本機械学会主催
- ・2016/6/24 第150回技術委員会, 23, 24 研究会@信州大学
- ・2016/9/23-26 磁気浮上システム国際会議 MAGLEV 2016 Berlin
- ・2017/9/6-8 産業用リニアドライブ国際シンポジウム LDIA 2017 大阪工業大学梅田C 2/5組織委員会, 4/8実行委員会

技術報告

- MLV 1334 環境調和型磁気支持応用技術の体系化 …2015/2/25発行済
MDD 新世代アクチュエータの性能評価とそれを活かす多自由度構成の提案 …2015/12/11提出済
MEL 最新!リニアモータ応用の状況2015 …2015/10/27提出済

重点取組進捗状況

- ①英文論文誌への投稿推薦・・・継続中
- ②基礎, 応用研究会の実施(磁気関係)
- ③技術委員会HP 随時更新。

以上